

うえだ News 環境市民会議

平成 16 年 6 月 15 日
第 8 号

発行：
うえだ環境市民会議
〒386-8601
上田市大手一丁目 11-16
上田市生活環境課内
電話：0268-23-5120
FAX：0268-25-4100
seikatukankyo@city.ueda.nagano.jp

うえだ環境市民会議は、市民・事業者・市のパートナーシップにより、7つのワーキングチームにわかれ、環境をよくする活動に取り組んでいます。それぞれのワーキングチームの活動を紹介します。

第 5 回うえだ環境市民会議開催

日時：7月6日(火) 午後1時30分から4時

会場：清浄園 2階学習資料室

講演会

演題 「地球温暖化の影響と防止への取組」

講師 浜田 崇さん(長野県環境保全研究所)

ワーキングチームミーティング ほか

現地を実際に訪れ写真に収め、マップに落とす作業を行います。

○休耕田、耕作放棄水田を生態系維持のため保全活用
ヤゴなど水生昆虫や魚の棲めるビオトープとして活用する。

●6月19日「浦里とんぼの会」田んぼビオトープにて

「生き物観察会」を開催

主催：「浦里とんぼの会」

共催：「自然豊かな山と川を育むまち WT」

「生き物観察」の方法、実施指導の担当は西尾規孝さん。

誰もが安心して健康に暮らせるまち

～きれいな水の循環を考える～

●浄水場、下水処理場などの施設見学会に参加し、命の水について考えていきます。

雨水利用など、水の有効利用について検討します。

自然豊かな山と川を育むまち

■5月11日ミーティング開催

○自然豊かな、きれいな水を育む山林へ導く

木材生産の経済林や松食い虫被害林を複層林へ導くため、特別防除(空中散布)事業について市農林課林務係に話を聞いた。

・平成16年度は前年の約半分の115haを予定。散布回数については、従来のスミパイン乳剤からスミパインMC剤に変更することにより、散布回数を1回にする。特別防除事業は「環境面の配慮から平成16年度限りでやめる」と3月に県から話があった。

主な質疑

「特別防除(空中散布)事業はやめてほしい」「特別防除(空中散布)事業は平成16年度限りでやめるとのこと、やめるのなら平成16年度もやめて経費を他の松食い虫対策事業に使えないか」「次年度から中止であるが、今後再開することは無いのか心配だ」「空中散布や皆伐による樹種転換によらない松食い虫対策(樹種転換)は出来ないか」

○グリーンベルト、鎮守の森、公園等の保全活用

保存樹林、樹木の指定もれが無いか再調査をしたい。なお、必要により保存樹林、樹木の指定基準の幅を広げる等、基準を見直したい。

●6月8日 市内の保存樹木及び保存樹林、貴重な樹木等の現地見学会

うえだの景観

■5月22日 地元学のすすめ「うえだの景観II」開催

○竹内秀夫が案内役を務め、上塩尻地区の蚕室造りの民家を見て歩いた。当日は曇天で暑過ぎず歩くにはとても都合のよい日だった。

まず、地球SOSリーダーの川上美保子氏に塩尻小学校校庭にあるナンジャモンジャの木について説明して頂いた。塩尻小学校のナンジャモンジャの木はマメ科のフジキであるが、一般的には何の木かよく分からないものをナンジャモンジャの木と呼んだため、必ずしもフジキとは限らないことを教えて頂いた。

上塩尻地区の道案内は地元の早川潤氏が参加されていたので急遽お願いし、快く引き受けて頂いた。蚕室造りの民家については上塩尻地区を歩きながら実物を見て、石積みの種類、外壁のささら子下見板(したみ)張り、北西風や西日を避けるために設けられた袖壁、塩尻地区の特徴と考えられる玄関脇の機屋、蚕や繭をねずみから護る願いが込められた猫瓦、身分・防火・装飾などの意味がある卯建、換気のために大屋根の上につくられた越屋根、出入口の位置による妻入と平入の違い、長屋門・蔵門・木戸門・薬医門の違い、塀の種類などについて説明した。

途中、清水卓爾家の蚕種貯蔵用の地下室と清水憲之助家の蚕室を見せて頂いた。清水卓爾家では清水卓爾氏に、清水憲之助家では弟さんの敬四郎氏にそれぞれ説明して頂いた。

地球 SOS

- 上田から発信する地球温暖化対策の提案を検討しています。身近で実行できる省エネルギー方法を考え、市民に広げます。循環型社会（ゼロエミッション）の実践を学び拡大を考えます。少雨地帯のため日照時間が多い上田として考えられる自然エネルギー（特に太陽光）について学習し、市民に提案します。森と街に気温測定器を設置して、上田の街のヒートアイランド現象を観察し緑地の効果を考えます。
- 7月6日（火）松林 進さんによる「エネルギーについて」の講話予定

げん ゴミゼロ ごみ減 (530)

～資源を有効に利用するまち～

- 5月21日 ミーティング開催
- 4月下旬から5月上旬にかけて行った食品トレイ使用品目削減活動に係る消費者アンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケート結果や店頭での食品トレイ使用品目調査の集計が終わり次第、結果を報告していきます。また、7月からのごみ袋有料化にともない、スーパー等のレジ袋削減活動の取組についても検討し、買い物時のマイバッグ持参を推進していきます。
- 今後の予定 6月23日（水）ミーティング開催
場所 市役所本庁舎2階第2会議室 午後1時30分から



食品トレイ使用品目削減活動アンケート調査

環境学習 いのち ～命の連環を学ぶ～

- 5月15日 環境講演会開催
- 「千曲川と魚たち」をテーマに、上小漁業協同組合長井出義人さんにご講演いただきました。三面床張りとなり水生生物にとっては棲みにくくなった今の川と昔ながらの

本物の川との違いを、写真を見ながら解説していただきました。また、市内の河川やため池でもブラックバスなどの外来魚やかわうすの増殖などによる在来魚の生態系が崩壊している現状などをお話いただきました。上小漁業協同組合では、《川は友だち 水をきれいに》を合言葉に水辺の環境保全に努めているので、是非子ども達を川で遊ばせて、自然と人間の共生を遊びながら学ばせてほしいとのことでした。

NPO 現代座公演 「虹の立つ海～未来からのうたごえ」 上田公演

埋め立てられてゆく浜辺で、ひとり抵抗を続ける老人。ある日浜で拾った1本の笛は、現代に絶望した老人を未来の少女との出会いへといざなう。少女は環境汚染に苦しむ同時代人のための薬草、春風草を探し求めていた…。現代と未来が交叉する視点で、新しい時代の希望を見つめるメルヘン。

日時：7月15日（木）
開場：18時30分 開演：19時
会場：上田市文化会館（駐車場：旧1中跡地）
入場料：おとな2500円 小中高生1000円
当日券各300円増
チケット等問い合わせ先 安井：27-3186

- ★「虹のたつ海」上田公演イベント 大交流祭 開催決定
日時：6月29日（火）19時30分～20時30分
会場：縁舎
実行委員会委員や後援していただいた団体の方、チケット販売協力者、環境問題に関心のある方、友人、知人など大勢の皆さんに集まっていただき、公演の成功に向けて広くアピールしようということになりました。みなさんもお参加ください。

環境 ISO ネットワーク

- 5月13日 ミーティング開催
- 5月18日 環境保全施設見学会に参加
- （社）長野県環境保全協会上小支部主催による施設見学会に参加し、先進的な企業の環境保全活動の取組状況を見学する事ができました。
見学場所 伊那食品工業(株)、セイコーエプソン(株)神林事業所、(株)ナガノトマト松本工場
- 6月21日（月）地域ぐるみ環境 ISO 研究会（飯田市）との研修会

信州環境フェア2004が開催されます

日時：7月17日（土）10:00～17:00

7月18日（日）9:00～16:00

会場：ビックハット（長野市若里多目的スポーツアリーナ）
テーマ：「持続可能な社会への変革～エコライフで暮らしが変わる社会が変わる～」

主催：信州環境フェア実行委員会